

第3章 海外における帰国留学生会

本章では外務省ホームページ上で登録されている ASEAN 各国帰国留学生会の活動概況により ASEAN 各国同窓会の活動状況および、第 2 章 2-3 で行った元日本留学生へのアンケート調査の結果から、更なる帰国留学生会の活動の活性化に向けた方策を探る。

3-1 帰国留学生会の活動の現状および外務省の支援

現在日本政府によって把握されている ASEAN における帰国日本留学生の帰国留学生会組織は図表 3-1-1 に示すように 47 団体である。(マレーシアの南部支部、北部支部を加えると 49 団体となる。)タイ、インドネシア、フィリピンなど多くの帰国留学生会団体が活動している国では中央に連合会を設置している。もっとも歴史のある組織はタイの Old Japan Students' Association, Thailand (OJSAT)で 1951 年に設立されている。もっとも新しいものでは 2002 年に設立されたカンボジア、ラオスの帰国留学生会、インドネシアの地方組織等でベトナム、ミャンマーも 2001 年設立と新しい帰国留学生会である。

組織形態として、マレーシアは主に私費留学生の帰国留学生団体である Japan Graduates' Association of Malaysia(JAGAM)とマレーシア政府派遣留学生の帰国留学生団体である Alumni Look East Policy Society (ALEPS)がある。JAGAM は北部・中部・南部の 3 地域で支部を組織している。

タイの場合は純粋な帰国留学生会の中央連合会であり、研修生は JICA、AOTS 別個に同窓会を持っている。帰国留学生会組織の構成は中央、北部、東北部の地域別組織の他に、国費留学生会、政府派遣留学生会、医学留学生会など留学形態別、東海大学、近畿大学、東京大学等大学学校別に会が組織されているところに特色がある。

インドネシアの Association Alumnus from Japan (PERSADA)も国費・私費・政府派遣・研修生等で 3 ヶ月以上日本に滞在した者が会員となることができ、中央組織の下に、地域別に各支部が設立されている。

フィリピンの中央組織、Philippine Federation of Japan Alumni, Inc. (PHILFEJA)は留学生ばかりでなく JICA や AOTS の元研修生なども会員として包括されており、会員数規模が約 15,800 名と最大である。留学生のみで会員とする組織には主に国費留学生会が地域別に帰国留学生会活動を展開している。

シンガポールも留学生のみで組織されているが 340 名の会員のうち、国費留学生が 80%で主流となっている。

これら ASEAN 各国の帰国留学生会中央組織は、国を超えた相互の交流を目的として、1977 年に

ASEAN 元日本留学生評議会 (ASEAN COUNCIL OF JAPAN ALUMNI [ASCOJA]) を設立した。以来 2 年毎に各国持ち回りで国際会議を開催し、相互の情報を交換したり、各国間での専門分野の協力体制を目指すなど、友好親善を深め繁栄促進のための協力体制が作られた。このような帰国留学生会の活動は全世界的にも特徴的であり、他の帰国留学生会にも多大な影響を与えている。

図表 3-1-1 ASEAN 諸国における元日本留学生同窓会の概要 (1)

国名	original名称(略称含む)	場所	設立月日	会員数	会長名	会長卒業大学
マレーシア	JAGAM: Japan Graduates' Association of Malaysia	Selangor	1973年1月9日	約1,000	Dato' Dr. Siow Kuang Lim	
	ALEPS: Alumni Look East Policy Society	Kuala Lumpur	1988年	約2,400	Zaba YounZaba Youn	豊橋技術科学大学 (1990)
タイ	Old Japan Students' Association, Thailand (OJSAT)	Bangkok	1951年9月15日	2,803	Mr. Chatchai Khumsap	
	Old Japan Students' Association, Thailand (OJSAT) Northern Regional Office	Chiang Mai	1987年2月22日	261	Mr. Chucheep Praputpittaya	
	Old Japan Students' Club, North East Thailand	Khon Kaen	2001年11月27日	78	Dr. Watcharin Gasaluck	
	Japanese Government Scholarship Alumni, Thailand (JGSA or JGSAT)	Bangkok	1968年10月13日	1,957	Mr. Samrerng Kriengprathana	東京大学
	Thai Government Scholarship Alumni	Bangkok	1989年	約35	Dr. Athipat Bamroong	神戸大学
	Thai Kokusai Gakuyukai Dosokai	Bangkok	1984年	約500	Mr. Chaiyos	明治大学 (1969)
	The Medical Science Society	Bangkok	1990年9月16日	約50	Dr. Vatanachai	
	Japanese Speaking Guide Club	Bangkok	2001年10月1日	約60	Mr. Vitaya	
	Tokai Gakuyukai Dosokai	Bangkok	1972年	約100	Mr. Montri Tangtrongchit	
	Kinki Gakuyukai Dosokai	Bangkok	1992年	約60	Mr. Pecha Sawadee	
	Kyoto Alumni Association	Bangkok	1997年8月17日	約30	Mr. Rungsun Lertnaisat	京都大学
	The University of Tokyo Alumni (THAILAND)	Bangkok	1999年	約30	Prof. Dr. Paisith Phipatanakul	
	ABK & AOTS Alumni Association (Thailand)	Bangkok	1966年5月1日	2,750	Mr. Ananta Ruxpaitoon	東京工業大学
	JICA Alumni Association (Thailand)	Bangkok	1987年3月29日	1,980	Mr. Uthai Patarasuk	
インドネシア	Association of Indonesian Alumni from Japan, Main Office	Jakarta Timur	1963年	約3000	Ir. Sidharta Martoredjo	九州大学 (1963)
	Association of Indonesian Alumni from Japan: West Java Chapter	Jawa Barat	1974年	約200	Drs. Adji Soemarna Martawidjaja	早稲田大学 (1968年)
	Association of Indonesian Alumni from Japan: Lampung Chapter	Lampung	2002年10月22日	100	Dra. S. St. Chadidjah, M. Eng.	愛媛大学 (1982年)
	Association of Indonesian Alumni from Japan: Bogor Branch	Jabar	1989年	141	Dr. Ir. Hadi Susilo Arifin, M. Agr.	岡山大学 (1994)
	Association of Indonesian Alumni from Japan: Surakarta Chapter	Jawa Tengah	1994年	25	Suharyo Sastro Sumarto	
	Association Alumnus from Japan (PERSADA), Southern Sulawesi region.	Sulawesi Selatan	1983年7月5日	約90	Prof. dr. Syarifuddin Wahid, Ph.D	岡山大学
	Association Alumnus from Japan (PERSADA), Manado	Sulawesi Utara	1963年7月5日	52	Ir. Ny. M. E. Tulung-Tuturoong	静岡大学 (賠償留学生)
	Association Alumnus from Japan (PERSADA), Kendari	Sulawesi Tenggara	準備中	4	Dr. Ir. H. I Gusti Ray Sadimantara, M. Agr	若手大学
	Association Alumnus from Japan (PERSADA), Ambon	連絡先未定	1983年	15	Ir. Ferdinand. C. N. Kailola	
	Association of Indonesian Alumni from Japan, Samarinda	Kalimantan Timur	1986年	69	Ir. Zainal Muttaqin, M. Agr.	名古屋大学
	The Alumni of The Indonesia-Japan Friendship Program For The 21th Century	Surabaya	1998年7月1日	61	Mr. Tun Ahmad gazali	
	Association of Indonesian Alumni from Japan, Jawa Timur	Surabaya	1983年	152	Drg. Widowati, Ph. D.	広島大学
	ベトナム	Association of the Former Vietnamese Students in JAPAN (AFVISTIA)	Hanoi	2001年5月1日	117	NGHIEM VU KHAI
フィリピン	SAPILNIP: Samahan ng mga Pilipinong Nag-aral sa Nippon, Inc.	Makati City	1993年7月30日	約94	Mr. Benjamin C. Laurel	
	PJYC: The Philippine JASCAA Youth Club	Manila	1990年	92	Ms. Lorraine Lim	
	PHILFEJA: Philippine Federation of Japan Alumni, Inc.	Manila	1976年7月19日	約15,781	Dr. Benito M. Pacheco	東京大学博士課程 (1983~87)
	PHILCULTAROS: The Philippine Cultural and Technical Association of Returned Overseas Scholars	Pasig City,	1965年3月15日	約5,379	Lorentti T. Velasco	
	PHILAJAMES: Philippine Association of the Japanese Ministry of Education Scholars (Northern Luzon Chapter)	Benguet	1996年	28	Dr. Tessie M. Merestela	東京大学 (1989)
	PHILAJAMES: Philippine Association of the Japanese Ministry of Education Scholars	Manila	1972年11月29日	2,437	Dr. Benito M. Pacheco	東京大学博士課程 (1987)

図表 3-1-2 ASEAN 諸国における元日本留学生同窓会の概要（2）

国名	original名称(略称含む)	場所	設立月日	会員数	会長名	会長卒業大学
フィリピン	PHILAJAMES: Philippine Association of the Japanese Ministry of Education Scholars(Cebu Chapter)	Cebu City	1997年	17	Dr. Meliton Antonio Delos Santos, Jr.	
	PHILAJAMES: Philippine Association of the Japanese Ministry of Education Scholars(Visayas Chapter)	Iloilo City	1996年	28	Dr. Gerald Quintio	北海道大学
	OMNI VENTURES, Inc.	Manila	1977年	28	Dr. Virgilio de los Santos	高等師範学校、福岡高等学校(1943)
	APPAJU: Association of Philippine Private Alumni of Japanese	Makati City	1991年10月4日	290	Mrs. Raquel C. Nakayama	上智大学(1968-1972)
	PHILAJAMES: Philippine Association of the Japanese Ministry of Education Scholars(Southern Luzon Chapter)	Laguna	1990年	50	Dr. Dwight Eusebio	京都大学博士課程(1995)
	PHILJFA: Philippine Japan Fellows Association	Manila	1966年	8767	Mr. Ernesto P. Martinez	
	Philippine Association of the Japanese Ministry of Education Scholars(Mindanao Chapter)	Davao City	1995年	30	Engineer Lilia Panchito	
ミャンマー	Myanmar Association of Japan Alumni(MAJA)	Yangon	2001年12月10日	203	Thet Tun	
カンボジア	JAPAN ALUMNI OF CAMBODIA (JAC)	Phnom Penh	2002年7月5日	36	Mr.EK BUNTHA	
ラオス	Japan Alumni of Laos (JAOL)	Vientiane	2002年5月11日	31	不明	
シンガポール	JUGAS: The Japanese University Graduates Association of Singapore	Singapore	1970年12月19日	340	Prof. Lai Kim Fatt	防衛大学校(1980)
ブルネイ	BAJA (Brunei Association of Japan Alumni)	Darussalam	1985年8月20日	22	Dr. Chin Yam Chin	

出典：外務省資料より作成

図表 3-1-3 は ASEAN 各国留学生会の主な対外的な活動を整理したものである。従って、各会の会員親睦にかかる活動や、理事会・役員会などの総務事項、また ASEAN の各留学生会が一律にかかわる「ASCOJA 総会」や「東南アジアの集い」への参加もリストからはずした。

これらの対外的活動は、留学生会が独自で運営する日本語学校や日本語講座、日本留学フェアへの協力や留学情報の提供など日本留学希望者への支援、地域での貢献活動や日本紹介事業、日本人社会との交流、日本からの留学生の受け入れ等に分類される。

特徴的なものとしては、マレーシアでの東方政策留学生事業への協力(渡日前オリエンテーションの実施)やインドネシアにおけるダルマプルサダ大学の経営、フィリピンの日本人留学生ホームステイプログラムなどがある。タイにおいて日本の帰国留学生によって 1973 年に設立され運営されている泰日経済技術振興協会 (Technology Promotion Association Thai-Japan [TPA]) はタイ国の工業技術の発展に多大な貢献を果たしている。

これら帰国留学生会の活動に対して、外務省は組織化促進のための名簿作成、懇談会の開催、ニュースター発行等へ積極的な支援を行っている。また、かつて日本で学んだ ASEAN 帰国留学生に対して元留学生相互の親睦を深め、日本について再認識する機会を提供するとともに、日本との架け橋の役割をより強固なものとするため、元留学生を一週間程度招聘する「東南アジア元日本留学生の集い」を昭和 49 年度から毎年継続して開催している(本年度で第 30 回目を迎えた)。文部科学省は元留学生に対する専門学術誌の送付、帰国外国人留学生短期研究制度、帰国外国

人留学生研究指導事業等を日本国際教育協会を通じ実施している。

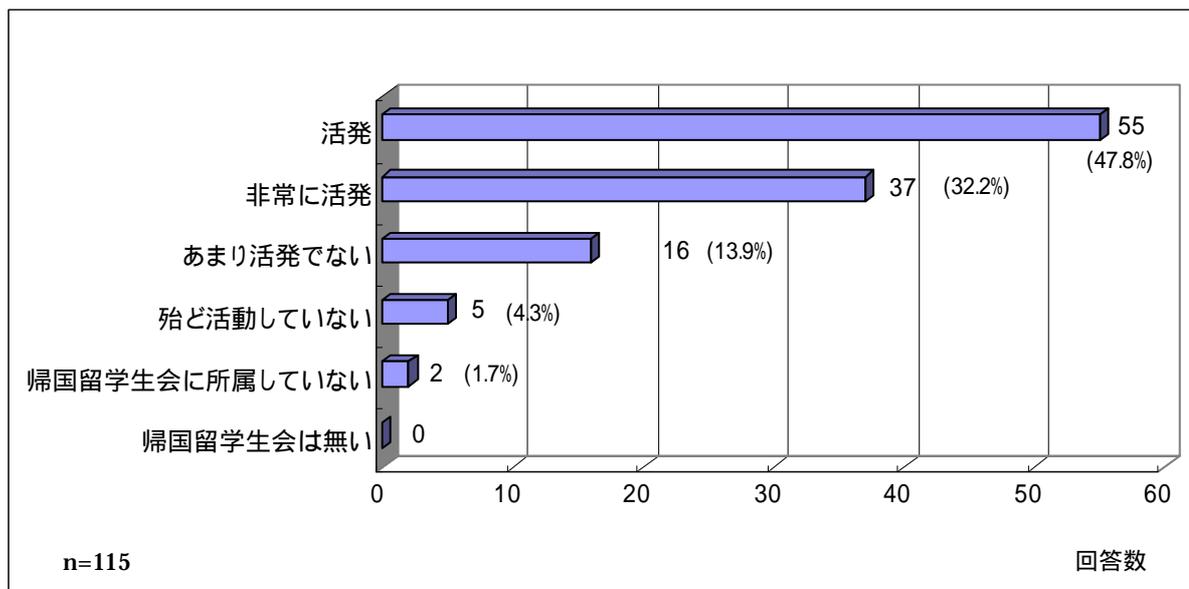
図表 3-1-3 ASEAN 各国留学生会の主な対外的な活動

国名	主な活動
マレーシア	AL-IA政府人事院の東方政策留学生事業への協力
	日本語教室開講
	日本人学校の交流活動への協力
	日本留学試験の実施
	日本留学情報の提供(日本留学フェアの主催等)
	文化事業への協力(ジャパソフェスティバル等)、シンポジウム開催
タイ	留学生・研修員に対する来日前利インターン
	在タイ日本大使館イベントへの参加・協力
	技術セミナーの開催
	茶道・生け花・折り紙、書道などの日本文化紹介
	日本の大学との交換留学生の増進
	日本語学校運営
	日本語弁論大会、日本語能力試験、日本留学試験の実施協力
	日本留学フェアの実施協力
	留学アドバイザーの配置
	日本語弁論大会等への協力
インドネシア	セミナー開催、広報活動
	ダルマプルサダ大学の経営
	日本人留学生に対するホームステイ協力
	小中学生への奨学金付与
	中小企業支援
	日本語講座の開催・日本語学校「日本文化学院」の運営
	大学での日本語指導及び協力
	国際言葉学院、静岡国際学校、ACC文化学院への留学生派遣
	国際交流基金との日本語弁論大会共催(毎年)。
	国費留学生に対する渡日前利インターンへの協力
	日本語留学フェアの共催、協力
	日本語留学についての情報提供
在越日本人との交流の場の提供	
フィリピン	会員の子弟に対する奨学金の供与
	科学技術開発関係機関への助成
	元国費留学生による日本紹介シンポジウムおよびレクチャー・フォーラム
	高校生を対象にした日本紹介セミナー
	短期研修プログラム(情報処理、日本語、渡日予定研修者への利インターン等)の開催
	渡日前国費留学生に対する利インターン(年2回開催)
	渡日前国費留学生に対する日本語研修(年2回開催)
	日本語講座の設置
	日本人留学生のホームステイプログラム・懇親会・
	日本語に関するフィルム上映会
日本語留学説明会(留学フェアへの支援)	
ミャンマー	留学希望者への助言・コンサルタント活動
	ASJAとの協力、連携
カンボジア	日本語留学説明会への開催協力
	日本語学校開設を検討中
ラオス	現在日本留学中、留学準備中の学生に対するカウンセリング
	日本から学んだ技術・知識の活用法の検討
	日本との文化交流(料理教室等を開催予定)
	在留邦人との交流(スポーツ大会、音楽等)
シンガポール	ボランティア活動(通訳、出張者の案内等)
	シンガポールで行われる文化学術交流事業への協力・支援。
	書籍・雑誌等の出版
	シンガポールの日本人コミュニティとの交流
	外部団体と日本語を学習中の高校生を対象に日本事情講演を実施。
ブルネイ	高校生のホームステイの受入れ。
	日本語留学フェアの開催。
	ブルネイ日本語弁論大会、日本関連行事への協力

出典：外務省資料より作成

これら帰国留学生会の活動について、第2章第3節で述べたASEAN元留学生に対するアンケート調査によれば、帰国留学生会の活動状況については「活発」が47.8%、「非常に活発」の32.2%を加えると、8割の元留学生が自国の帰国留学生会が活発であると認識している。

図表 3-1-4 帰国留学生会の活動状況



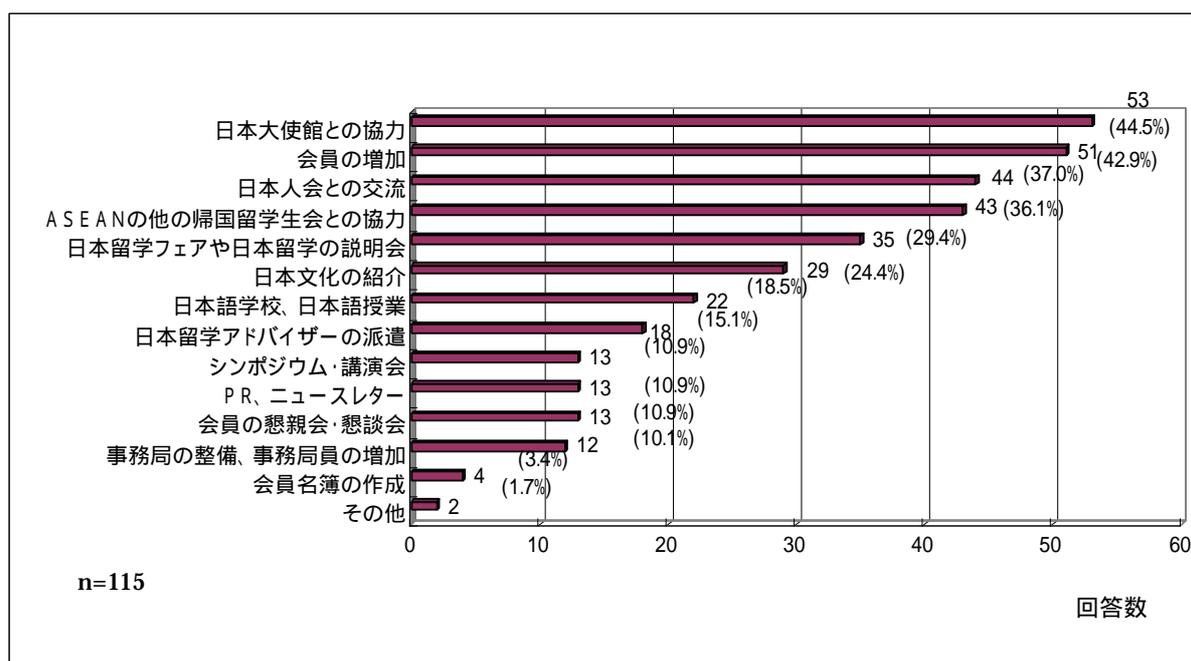
出典：ASEAN元留学生に対するアンケート調査結果。詳しくは2-3を参照

3-2 帰国留学生会活動のさらなる強化、活性化に向けての方策

帰国留学生会の活動強化に向けての方策については、既述した ASEAN 元留学生に対するアンケート調査を基に整理する。

図表 3-2-1 は帰国留学生会の活動を強化するために必要と帰国留学生会メンバーが考えている項目を示したものである。帰国留学生が望む会の活動強化の対策としては、「日本大使館との協力」44.5%、「会員の増加」42.9%、と「日本人会との交流」37.0%が上位3位を占めている。また、「日本留学フェアや日本留学の説明会」が29.4%、「日本文化の紹介」が24.4%、「日本語学校、日本語授業」が18.5%、「日本留学アドバイザーの派遣」が15.1%であるように、多くの帰国留学生会は日本大使館との連携強化の下、日本留学フェアや日本語学校など、後進の学生たちの日本留学に寄与する事業を望んでいる事が窺える。

図表 3-2-1 帰国留学生会の強化活性化のための改善方策



出典：ASEAN 元留学生に対するアンケート調査結果。詳しくは 2 - 3 を参照

既述した ASEAN 各国の帰国留学生の活動状況及び元日本留学生に対するアンケート調査結果に基づき、以下では、帰国留学生会の活動のさらなる強化、活性化に向けての方策を整理する。

ASEAN 各国在日留学生会との連携による新規会員の確保

会員の増加は、帰国留学生会活動を活発に展開させるための基礎要件である。そのために、日本における各国留学生会活動と、帰国後の帰国留学生会活動を有機的に連携させることが考えられる。在日留学生会に対してはマレーシアやタイなどのように各国在日大使館が活動のサポートをしている場合が多いが、これら在日大使館の協力を得て、たとえば「東南アジア元日本留学生の集い」の際に在日留学生会と帰国留学生会の合同セッションや国別分科会を開催し、相互の情報交換を行ってもらい、在日留学生会に帰国後の帰国留学生会への参加を呼びかけるとともに、スムーズに人脈を繋げることができるような場を確保することは、極めて有効な方法であると思われる。

帰国留学生会との留学教育交流事業の共同開発

日本への要望として事務局の整備等を挙げているのは、ベトナム、ミャンマーのような設立直後の帰国留学生会である。一方、日本語学校、日本語授業への支援の要望は相当規模で継続的な事業展開を行っているタイの OJSAT やインドネシア、アレーシアなど活動実績を積んだ留学生会から挙げられている。各国の留学生会の規模や活動の蓄積の有無により、要望事項も異なっているが、基本的に帰国留学生会は日本卒業生間の親睦が目的であり、現地での参加形態はボランティアである。そのため、帰国留学生会自体が主体となって事業を展開するためには、対外的に組織として対応できる事務局体制が必要となる。アンケート結果では「日本大使館との協力」や「日本人会との交流」が会の活性化の要素として挙げられている。大使館や現地日本人会の行事を企画する際に協力し参加するという意味では「留学フェア・日本留学の説明会」「日本留学アドバイザーの派遣」などの協力も同じ線上にあるが、多くは単発イベントへの協力である。

帰国留学生会の活動を更に発展させるためには、事務局の開設、会員の増加のみでなく、日本サイドと帰国留学生会が共同して、会の活動にふさわしい留学教育交流に関する事業を開発し、これを継続的に実施していくための協力関係を積極的に作り上げることが必要であると考えられる。